

産科婦人科学講座

Obstetrics and Gynecology

教授	齋藤 滋	Shigeru Saito
准教授	日高 隆雄	Takao Hidaka
助教	長谷川 徹	Toru Hasegawa
助教	中島 彰俊	Akitoshi Nakashima
助教	山中 (立松) 美樹子	Mikiko Yamanaka (Tatematsu)

◆ 著 書

- 1) 井上裕美, 竹内正人, 大場 隆, 武内裕之, 伊東宏晃, 安達知子, 下屋浩一郎, 藤森敬也, 馬場一憲, 杉浦真弓, 川内博人, 金山尚裕, 山崎峰夫, 左合治彦, 齋藤 滋, 杉山 隆, 朝倉秀策, 海野信也, 松村譲児: 病気がみえる, 10: 132-151, メディックメディア, 東京, 2009.

◆ 原 著

- 1) Lin Y., Wang W., Jin H., Zhong Y., Di J., Zeng S., Saito S.: Comparison of murine thymic stromal lymphopoietin- and polyinosinic polycytidylic acid-mediated placental dendritic cell activation. *J Reprod Immunol*, 79: 119-128, 2009.
- 2) Lin Y., Ren L., Wang W., Di J., Zeng S., Saito S.: Effect of TLR3 and TLR7 activation in uterine NK cells from non-obese diabetic (NOD) mice. *J Reprod Immunol*, 82: 12-23, 2009.
- 3) Saito S.: The Causes and Treatment of Recurrent Pregnancy Loss. *JMAJ*, 52(2): 97-102, 2009.
- 4) Lin Y., Nakashima A., Shima T., Zhou X., Saito S.: Toll-like receptor signaling in uterine natural killer cells-role in embryonic loss. *J Reprod Immunol*, 83: 95-100, 2009.
- 5) Shiozaki A., Yoneda N., Yoneda S., Soeda Y., Hamashima T., Ishizawa S., Tamura K., Horikawa S., Higashiyama H., Yoshida T., Miyawaki T., Saito S.: Gestational choriocarcinoma in one placenta of dichorionic diamniotic twins who showed severe anemia. *Placenta*, 30: 821, 2009.
- 6) Hidaka T., Shima T., Nagira K., Ieki M., Nakamura T., Aono Y., Kuraishi Y., Arai T., Saito S.: Herbal medicine Shakuyaku-kanzo-to reduces paclitaxel-induced painful peripheral neuropathy in mice. *Eur J Pain*, 13: 22-27, 2009.
- 7) Lin Y., Zhong Y., Saito S., Chen Y., Shen W., Di J., Zeng S.: Characterization of natural killer cells in nonobese diabetic/severely compromised immunodeficient mice during pregnancy. *Fertil Steril*, 91: 2676-2686, 2009.
- 8) Izumi-Yoneda N., Toda A., Okabe M., Koike C., Takashima S., Yoshida T., Konishi I., Saito S., Nikaido T.: Alpha/antitrypsin activity is decreased in human amnion in premature rupture of the fetal membranes. *Mol Hum Reprod*, 15: 49-57, 2009.
- 9) Watanabe S., Hashimoto I., Saito K., Watanabe K., Hirono K., Uese K., Ichida F., Saito S., Miyawaki T., Niemabb P., and Sahn D.J.: Characterization of ventricular myocardial performance in the fetus by tissue doppler imaging. *Circ J*, 73: 943-947, 2009.
- 10) 齋藤 滋, 杉浦真弓, 田中忠夫, 藤井知行, 杉 俊隆, 丸山哲夫, 竹下俊行, 山田秀人, 小澤伸晃, 木村 正, 山本樹生, 藤井俊策, 中塚幹也, 下屋浩一郎: ワークショップ 12 「不育症の新たな原因探索と治療」本邦における不育症のリスク因子とその予後に関する研究. *日本周産期・新生児医学会雑誌*, 45: 1144-1148, 2009
- 11) 日高隆雄, 米澤理可, 伊藤実香, 島 友子, 立松美樹子, 中島彰俊, 長谷川徹, 齋藤 滋: 婦人科癌術後のリンパ浮腫に対する治療成績. *日本婦人科腫瘍学会雑誌*, 27: 125-130, 2009.
- 12) 日高隆雄, 小泉桂一, 小川和生, 柴垣ゆかり, 済木育夫, 齋藤 滋: 更年期障害における加味逍遥散の証と臨床効果について. *産婦人科漢方研究のあゆみ*, 26: 24-29, 2009.
- 13) 中島彰俊, 日高隆雄, 長谷川徹, 立松美樹子, 伊藤実香, 米田徳子, 齋藤 滋: 当院における腹腔鏡手術合併症の検討. *日本産科婦人科学会富山地方部会雑誌*, 24(25): 5-8, 2009.
- 14) 塩崎有宏, 齋藤 滋, 松田義雄, 佐藤昌司: ワークショップ 2 「新たな妊婦健診体制の構築に向けて母子手帳を考える～必要な母体・胎児情報は何か?～」産科合併症の特性に関する研究. *日本周産期・新生児医学会雑誌*, 45: 1018-1020, 2009.
- 15) 米田 哲, 青木藍子, 鮫島 梓, 米田徳子, 島 友子, 伊藤実香, 立松美樹子, 塩崎有宏, 齋藤 滋: ワークショップ 4 「切迫早産の治療」妊娠 28 週未満の胎胞形成症例の特徴と治療的頸管縫縮術の成績. *日本周産期・新生児医学会雑誌*, 45: 1051-1054, 2009.

◆ 症例報告

- 1) 中島彰俊, 米澤理可, 立松美樹子, 稲坂 淳, 橋本佳子, 長谷川徹, 日高隆雄, 齋藤 滋: PET 陽性の子宮外発生した平滑筋腫の2例. 日本産科婦人科学会富山地方部会雑誌, 24(25): 26-30, 2009.

◆ 総 説

- 1) 齋藤 滋: 「臍内細菌培養の意義」 今月の主題 妊娠と臨床検査 話題. 臨床検査, 53: 463-465, 医学書院, 2009.
- 2) 齋藤 滋: 「炎症を中心とした免疫反応」 周産期医療と inflammatory response. 周産期医学, 39: 675-679, 2009.
- 3) 齋藤 滋: 「早産リスクの評価法 - 絨毛膜羊膜炎の関与も含めて - ». 日本医事新報, 4457: 55-59, 2009.
- 4) 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋: I. 産科領域. 女性特有の救急医療 - プライマリケア. レジデント, 3: 35-39, 2009.
- 5) 長谷川徹, 齋藤 滋: 初期妊娠異常の診断と管理: 過大着床部・PSTT. 産科と婦人科, 76: 295-300, 2009.
- 6) 立松美樹子, 齋藤 滋: 「性感染症 up to date」 妊娠と性感染症. 臨床婦人科産科, 63: 130-133, 2009.
- 7) 齋藤 滋: 不育症の原因と治療. 日本医師会雑誌, 137: 39-43, 2008.
- 8) 齋藤 滋: アウトカムからみた周産期管理「細菌性陰症/GBS 保菌者/絨毛膜羊膜炎の管理と治療」. 周産期医学, 39: 1331-1334, 2009.
- 9) 齋藤 滋: わが国における早産の実態とその予防対策. 産婦人科治療, 98: 337-342, 2009.
- 10) 米田徳子, 島 友子, 米田 哲, 塩崎有宏, 齋藤 滋: ハイリスク妊婦への情報提供実例集「前期破水」. 周産期医学, 39: 349-353, 2009.
- 11) 塩崎有宏, 齋藤 滋: 常位胎盤早期剥離と絨毛膜羊膜炎. 産婦人科の実際, 58: 2113-2122, 2009.

◆ 学会報告

- 1) Saito S.: Regulatory T and NK cells during pregnancy. Mechanisms Associated with Reproductive Organs: Relevance in Fertility and in Sexually Transmitted Infections. International Congress of Bio-immunoregulatory, National Institute of Immunology, 2009, 2, 9-13, New Delhi, India.
- 2) Saito S.: Cervical inflammation and preterm labour. ACOG2009, RANZCOG2009ASM, 2009, 3, 27, Auckland, New Zealand.
- 3) Saito S.: Regulatory T and NK cells during pregnancy. IUPS Satellite Symposium on Endometrial Receptivity and Blastocyst Implantation, 2009, 7, 25, Kyoto.
- 4) Saito S.: Regulatory T and NK cells during pregnancy. 7th European Congress on Reproductive Immunology, 2009, 9, 17-20, Marathon, Greece. (Invited lecture)
- 5) Saito S.: Inflammatory markers and selective cervical cerclage. 9th World Congress of Perinatal Medicine, 2009, 10, 24-28, Berlin, Germany. (Invited lecture)
- 6) Saito S.: What is the role of immune system in the pathogenesis of pre-eclampsia? 3rd SGI International Summit, 2009, 11, 12-14, Sendai. (Invited lecture)
- 7) Nakashima A., Tatematsu M., Saito S.: The role of autophagy on the invasion of extravillous trophoblast. International Federation of Placenta Associations 2009, 2009, 10, 6-9, Adelaide, Australia.
- 8) 齋藤 滋: わが国における早産の実態とその予防対策. 長崎県母性衛生学会, 2009, 5, 31, 長崎.
- 9) 齋藤 滋: 頸管炎, 子宮収縮の有無からみた頸管長短縮例の予後. 日本早産予防研究会学術集会, 2009, 6, 20, 東京.
- 10) 齋藤 滋: ワークショップ 12 「不育症の新たな原因探索と治療」 本邦における不育症のリスク因子とその予後に関する研究. 第 45 回日本周産期・新生児医学会, 2009, 7, 14, 名古屋. (招待講演)
- 11) 齋藤 滋: わが国における早産の実態とその予防対策. 第 32 回日本母体胎児医学会学術集会ランチョンセミナー, 2009, 9, 27, 東京. (招待講演)
- 12) 日高隆雄: 更年期障害に対する漢方医学的診断(証)の解明 - プロテオミクス解析によるバイオマーカーの同定と治療効果の予測 -. 第 61 回日本産科婦人科学会学術講演会, 2009, 4, 5, 京都. (ポスター発表)
- 13) 日高隆雄: 更年期障害と漢方 - 更年期障害に対する漢方療法の臨床効果とプロテオミクス解析による「証」の解明 -. 第 28 回日本アンドロロジー学会学術大会シンポジウム, 2009, 7, 3, 富山. (口頭発表)
- 14) 日高隆雄: 西洋医が行なう漢方的診断法と更年期障害に対する漢方処方の実際. 第 31 回産婦人科懇話会, 2009, 7, 25, 大阪. (招待講演)
- 15) 日高隆雄: 子宮腺筋症に対する妊孕能温存手術(腹腔鏡下子宮腺筋症切除術)治療効果の検討. 第 49 回日本産科婦人科内視鏡学会, 2009, 9, 5, 高知. (口頭発表)

- 16) 日高隆雄：がん薬物支持療法としての漢方製剤：Paclitaxel 誘発疼痛に対する芍薬甘草湯。がん薬物支持療法研究会，2009, 10, 2, 富山。（招待講演）
- 17) 日高隆雄：癌患者における各種愁訴対策としての漢方治療：Paclitaxel 誘発疼痛マウスモデルに対する芍薬甘草湯の効果に関する基礎的検討。第 47 回日本癌治療学会学術集会シンポジウム，2009, 10, 22, 横浜。
- 18) 長谷川徹，米澤理可，米田徳子，立松美樹子，中島彰俊，日高隆雄，齋藤 滋：診断，治療に苦慮した卵巣癌合併妊娠の 3 症例。第 61 回日本産科婦人科学会学術講演会，2009, 4, 3-5, 京都。
- 19) 長谷川徹，中島彰俊，島 友子，橋本誠司，大洞由起子，日高隆雄，齋藤 滋，野本一博，福岡順也：子宮内膜ポリープ内に認められた Endometrial intraepithelial carcinoma (EIC) の 1 例。第 47 回日本癌治療学会総会学術集会，2009, 10, 22-24, 横浜。
- 20) 長谷川徹，米澤理可，島 友子，立松美樹子，中島彰俊，日高隆雄，齋藤 滋：当科における骨密度長期フォローアップ症例の検討 - HRT 終了後の骨量減少について -。第 20 回婦人科骨粗鬆症研究会，2009, 11, 14, 東京。中島彰俊，伊藤実香，米田 哲，塩崎有宏，齋藤 滋：「T 細胞・NK 細胞と妊娠維持」シンポジウム。Trophoblast に関わる免疫と臨床病態。第 17 回日本胎盤学会学術集会，2009, 10, 16-17, 東京。
- 21) 中島彰俊，伊藤実香，米田 哲，塩崎有宏，齋藤 滋：「T 細胞・NK 細胞と妊娠維持」シンポジウム。Trophoblast に関わる免疫と臨床病態。第 17 回日本胎盤学会学術集会，2009, 10, 16-17, 東京。
- 22) 中島彰俊，立松美樹子，齋藤 滋：オートファジーは絨毛外栄養膜細胞浸潤に必須の機構である。第 17 回日本胎盤学会学術集会，2009, 10, 16-17, 東京。（学会賞）
- 23) 立松美樹子，中島彰俊，齋藤 滋：絨毛外栄養細胞の浸潤とオートファジーとの関連について。第 61 回日本産婦人科学会，2009, 4, 3-5, 京都。
- 24) 伊藤実香，中島彰俊，伊奈志帆美，米田 哲，塩崎有宏，二階堂敏雄，齋藤 滋：好中球，単球，T 細胞から産生される IL-17 は TNF α と相乗的に作用し羊膜上皮間葉系細胞からの IL-8 産生を亢進させる。第 61 回日本産科婦人科学会学術講演会，2009, 4, 3, 京都。
- 25) 島 友子，伊藤実香，中島彰俊，塩崎有宏，齋藤 滋：妊娠には胎児抗原特異的制御性 T 細胞が関与する。第 61 回日本産婦人科学会学術講演会，2009, 4, 4, 京都。
- 26) 島 友子，大洞由紀子，橋本誠司，中島彰俊，長谷川徹，日高隆雄，齋藤 滋：再発した低分化型セルトリ間質細胞腫瘍 2 例の臨床的検討。第 57 回北日本連合地方部会学術講演会，2009, 8, 29, 北海道。
- 27) 島 友子，伊藤実香，中島彰俊，塩崎有宏，齋藤 滋：妊娠子宮には胎児抗原特異的制御性 T 細胞が増加する。第 24 回日本生殖免疫学会，学術集会，2009, 11, 28, 東京。（学術奨励賞）
- 28) 青木藍子，米田徳子，米田 哲，塩崎有宏，齋藤 滋：DIC 合併急性前骨髄球性白血病合併妊娠の一例。第 37 回日産婦学会北陸連合地方部会，2009, 6, 14, 富山。
- 29) 橋本誠司，長谷川徹，中島彰俊，島 友子，大洞由紀子，日高隆雄，齋藤 滋：Endometrial intraepithelial carcinoma (EIC) の一例。第 37 回日産婦学会北陸連合地方部会，2009, 6, 14, 富山。
- 30) 青木藍子，鮫島 梓，福田香織，米田徳子，立松美樹子，米田 哲，塩崎有宏，齋藤 滋：出生前に巨舌・羊水過多・巨大児を認め Beckwith-Wiedemann 症候群を疑った一例。第 4 回富山地方部会例会，2009, 11, 4, 富山。
- 31) 中島彰俊，日高隆雄，長谷川徹，立松美樹子，伊藤実香，米田徳子，齋藤 滋：当院における腹腔鏡手術合併症の検討。第 5 回日産婦富山地方部会例会，2009, 1, 30, 富山。
- 32) 大洞由紀子，中島彰俊，橋本誠司，島 友子，長谷川徹，日高隆雄，齋藤 滋：止血困難な産科大量出血後 DIC に対し活性化第 VII 因子製剤（ノボセプン[®]）投与にて救命しえた一例。第 3 回日産婦富山地方部会例会，2009, 9, 11, 富山。

◆ その他

- 1) 中尾秀人，齋藤 滋：「シンポジウムのまとめ」。周産期シンポジウム 日本周産期・新生児医学会 第 27 回周産期学シンポジウム記録集，27: 53-54, 2009。
- 2) 齋藤 滋：産婦人科 不育症の検査と治療 質疑応答。日本医事新報，4443: 82-83, 2009。
- 3) 立松美樹子：男女共同参画講座 生涯を通じた男女の健康講座 JFPA 社会法人日本家族計画協会共催 生涯を通じた女性の健康支援事業「年を重ねても元気に美しく」。サンフォルテ富山，2009, 2, 27。
- 4) 立松美樹子：エイズ予防健康教育 エイズと性感染症について。富山歯科総合学院，2009, 3, 10。
- 5) 立松美樹子：サンフォルテフェスティバル 年齢と骨盤底筋（尿失禁，性器脱と骨盤底筋体操）。サンフォルテ富山，2009, 6, 27。

- 6) 立松美樹子：保健講話「性と生について考えよう」。富山県立石動高校，2009, 6, 23.
- 7) 立松美樹子：保健講話「性感染症の予防について」。砺波市立出町中学校，2009, 7, 2.
- 8) 立松美樹子：保健講話「性と生について考えよう」。小矢部園芸高校，2009, 7, 7.
- 9) 立松美樹子：性教育「性と生について考えよう」。新湊高校，2009, 7, 10.
- 10) 立松美樹子：性教育「性と生について考えよう」。富山国際大学附属高校，2009, 7, 13.
- 11) 立松美樹子：性教育「性と生について考えよう」。小杉中学校，2009, 7, 14.
- 12) 立松美樹子：性教育「性と生について考えよう」。利賀中学校，2009, 10, 6.
- 13) 立松美樹子：性についてのお話。高岡愛育園，2009, 10, 21.
- 14) 立松美樹子：富山市事業 ころ&からだセミナー「アンチエイジングで健康に美しく年をとろう」。サンフォルテ富山，11, 21, 2009.
- 15) 立松美樹子：性教育「性と生について考えよう」。氷見市立西部中学校，2009, 12, 15.
- 16) 齋藤 滋，杉浦真弓：ワークショップ12「不育症の新たな原因探索と治療」座長のまとめ。日本周産期・新生児医学学会雑誌，45: 1143, 2009.